

組 織 活 性 化 委 員	監 事	副 支 部 長		
(三河)	(三河)	(三河)	(尾張)	(尾張)
原田隆行	柵木智幸	平井敦	山岡裕典	山岡裕典
鈴木健	松山清美	彦坂登一朗	渡辺孝雄	森弘徳
坪井文典	喜一			
(名古屋)	(名古屋)	(名古屋)	(名古屋)	(名古屋)

令和七年度 全国連合退職校長会 総会報告



副会長

長谷川 和美

令和七年度全
国連合退職校長

会総会が、六月六日(金)東京都の品川区立総合区民会館小ホールで開催され、本県から岡田豊会長と参加した。

全連退会長挨拶、来賓祝辞の後、会務・決算報告、新役員案等の六議案が提案され、すべてが承認された。

本会は今年設立六十周年の節目を迎える。その記念講演が総会の午後から開催され、東日本大震災当時、南三陸町立志津川中学校の校長であられた菅原貞芳先生による「乱にいて治を忘れず 治にいて乱を忘れず」三・一一から学んだこと伝えたいこと」と題した講演を拝聴した。先生は三・一一震災語り部としてこれまでに六十回以上の講演をされている。志津川中学校は沿岸部ではあったが高台にあったため避難所となった。職員や中学生たちが自らの家族の安否も確認できない中で避難所運営に尽力した様子が映像とともに語られた。被災

時の混乱の中では、秩序維持や衛生環境の保持がいかに重要かを思い知った内容であった。多くの学校は緊急時の避難所に指定されている。治にある時こそ、危機管理意識を高めて実践的な避難訓練を行い、学校内だけでなく学校周辺までも知ることが大切だということを痛感した。現役の校長先生たちにも聞いてほしい講演であった。

生き生きライフ

音楽に囲まれて

2年度入会 大橋 晃
(元 名古屋 昭和橋小)

退職後しばらくして、二十年前の教え子から一本の電話がかかってきました。内容は「私たちの吹奏楽団を指導してくれないか」というものでした。悩みましたが、教え子の頼みを受け入れ、二十年ぶりに吹奏楽の指導をすることとなりました。

以来、

社会人吹奏楽団の指揮者となり五年がたちました。練習は、毎週日曜日九時



定期演奏会の様子

十六時と長いですが、音楽を指導していると、あつという間に時間が過ぎます。約六十名の団員に、様々な楽曲を指揮して、いつも感じることには、共に音楽を創造する喜びです。つい先日も定期演奏会が行われ、満員の聴衆に自分たちの音楽を届け、共に達成感を味わうことができました。現在は、夏のコンクールを目指して練習に励んでいます。

一方、平日は小学校で非常勤講師として音楽を教える機会にも恵まれ、逆に子どもたちから教えられる日々を送っています。相手が子どもでも大人でも、これからも仲間と共に音楽を奏でる喜びを伝えていきたいと思っています。

憧れの穂高

3年度入会 岩田 有司
(元 海部・蟹江北中)

定年退職一年目、「山に登りたい」という若い頃からの思いが日に日に高まり、二十年前に多度山に登りました。

これがきっかけとなり、鈴鹿セブンマウンテン・鈴鹿十座や伊吹山に登るようになり、三十八回に至っています。鈴鹿で最も楽しめたのは、鎌尾根から登る鈴鹿山脈の鋭峰鎌ヶ岳。切れ落ちた稜線と

ピークを越えていくこのルートは、とてもスリリングで緊張感を楽しめるものでした。



初冬の宝剣岳

一度始めると、より高みを目指したくなるものです。私も夏から晩秋にかけて、北アルプスや中央アルプスに出かけています。西穂高岳独標、涸沢カール、宝剣岳、木曾駒ヶ岳に登りました。今年

は、若い頃から憧れていた奥穂高岳の登頂を、涸沢カールを拠点にして二泊三日で目指します。三一九〇mから眺める三六〇度のパノラマの感動を味わいたいと思います。

健康で登山ができることに感謝しながら、これからも日々の生活を楽しみ、仕事にも励みたいと思います。

家庭菜園とガーデニングで 幸せホルモンアップ!

4年度入会 川上 季予子
(元 名古屋・高田小)

仕事をしながら家事と育児介護に明け暮れた現職時代、慌ただしい毎日の中、ストレス解消で始めた家庭菜園と、季節を実感できるガーデニングは二十年間続いています。

現在も私立小学校の児童支援として働いていますが、心と時間に余裕ができ、一日の始まりは畑や鉢植えの水やり、花がら摘み、野菜の観察です。三坪ほどの畑に春夏にはオクラ・トウモロコシ・パプリカ・落花生、秋冬にはタマネギ・大根を栽培しています。収穫した野菜の形はいびつで大きさも不揃いですが、無農薬や有機肥料を使った栽培なので安心して旬の野菜が食べられます。毎日食卓にのぼるので家族はうんざりしていません。

また、玄関先には二十二鉢のバラと季節の花を栽培しています。病気や害虫の予防、切り戻し剪定など、ほんの少しのひと手間です。四季折々の花を一年中楽しむことができます。野菜や花がコミュニケーションツールになり、ご近所さんともやま話になることも。私にとつて家庭菜園とガーデニングは、過去の苦い経験も未来への不安も忘れ、自然と心が癒されるひととき、幸せホルモンが増加します。

キャンピングカーで きままな旅へ

5年度入会 津坂 明宏
(元 豊田・下山中)

一日の仕事を終えた後、軽



アンドロイド 渡沢 先生の講義



白色の藤の花



足利フラワーパーク

自動車のキャンピングカーで、三泊三日の旅に出かけます。昨年は真夏と真冬を除いて七回ほど出かけました。最近では、訪れる機会がなかった秩父の三峯神社、藤の名所の足利フラワーパーク、行きたかった大谷石探掘現場跡へ出かけました。宇都宮餃子やほうとう等、地元の名物も堪能しました。車の旅は自由度が高く、行動の幅が広がります。行程は事前に決めますが、道中で偶然に見つけたお寺や滝等の名所に立ち寄りができます。今回も予定を変更し、深谷でアンドロイド 渡沢 先生の講義「道徳経済合一説」を受けてきました。旅先での人とのふれあいや目にする景色に心を動かされる経験は、日々の生活に潤いと楽しみをもたらしてくれます。旅の終わりには、すでに次の旅の構想が始まっています。

落語に魅せられて

6年度入会 近藤 良江
(元 西春日井・志水小)

私が落語に魅せられて、これこれ二十年にはなるだろう。今でも鮮烈に覚えているのは桂米朝師匠の「青菜」である。年齢の影響か張りのある声ではなかったが、語り出せば情景や人物が鮮やかに広がってきた。夏の暑い日差し、涼やかな日本酒の味わい、鷹揚としたご隠居と素直に感心する植木屋のやり取り。一方、暑苦しい長屋で植木屋に付き合う嬢がまた可愛らしくて、くすくすと笑ってしまう。落語では、ばかばかしくも愛おしい人々が描かれる。気が付けば一時間近く経っていた。

そんな至福のひとつを求めて、役職定年後はひと月に一回ほど落語を聞きに出かけるようになった。最近では、桂米朝師匠の落語会で大いに笑い、米團治の持ち味が存分に発揮された「質屋芝居」を堪能した。幕が下りるまで両手を振り続けたら、最後の最後に師匠と目が合ったような気がして幸せ気分が帰路に就いた。素人感想だが、落語家は年を重ねるほど深みが増して面白。私も最頂の落語家と共に

に、日常の中にあるおかしみを大切にしていよい年の重ね方をしたいと思う。

テレビ体操

7年度入会 尾出 知子
(元 刈谷・小高原小)

学校を離れて、新しい生活になりました。新しい職場では、一日中デスクに座ったままで、体がどんどん固まっています。不精な自分が定期的に運動に通うことは無理だと思いましたが、テレビを見ながら十分間体操をすることなら私にでもできそうです。Eテレで朝六時二十五分から六時三十五分の十分ですが、毎朝のルーティーンに加わりました。

毎日テレビのインストラクターの方の動きを見ながら体操をしていると、指先は伸びているのか、柔らかく握っているのか、手のひらはどちらに向けているのか、足はどの程度開くのか、足先の角度は、など細かい動きが気になってきます。できるだけその通りに動いてみると、たった十分でも、結構しっかり運動できるだけでなく、体の筋が伸びて、自分の体の中心がまっすぐになるような感覚になります。体操の最後にある深呼吸で気持ちも整えて、一日をスタートさせています。

現職校長会情報

令和七年度愛知県小中学校校長会総会が、五月十九日(月)にZichia日本特殊陶業市民会館で開催されました。加藤会長は、校長を船長に例え、教職員という乗組員と共に、乗客の子どもたちを目的地である未来へ連れて行くため、確かな指針を与える港となる校長会活動を目指し、「共に学び 対話を重ね 未来を拓く」をキャッチフレーズとして、学びとつながり、対話を大切にして取り組んでいこう」と呼び掛けました。議案の審議・承認、活動方針の採択がなされました。



令和7年度 愛知県小中学校校長会総会

令和7年度 愛知県小中学校校長会役員一覧

会長	副会長	事務局長	監査
加藤 良江	村越 茂樹	中山 政彦	伊藤 幾子
市川 兼子	水谷 茂樹	吉田 智樹	岡崎 通康
高田 由紀	深津 伸夫	山田 洋暢	小山 真司
小田 真司	山田 洋暢	山田 真司	山田 真司
山田 真司	山田 真司	山田 真司	山田 真司
山田 真司	山田 真司	山田 真司	山田 真司
山田 真司	山田 真司	山田 真司	山田 真司
山田 真司	山田 真司	山田 真司	山田 真司
山田 真司	山田 真司	山田 真司	山田 真司

令和7年度 名古屋市立小中学校校長会役員一覧

会長	副会長	事務局長	監査
山田 伸人	加賀 幸一	山田 善一	北浦 賢
山田 伸人	加賀 幸一	山田 善一	北浦 賢
山田 伸人	加賀 幸一	山田 善一	北浦 賢
山田 伸人	加賀 幸一	山田 善一	北浦 賢
山田 伸人	加賀 幸一	山田 善一	北浦 賢
山田 伸人	加賀 幸一	山田 善一	北浦 賢
山田 伸人	加賀 幸一	山田 善一	北浦 賢
山田 伸人	加賀 幸一	山田 善一	北浦 賢
山田 伸人	加賀 幸一	山田 善一	北浦 賢



令和7年度 名古屋市立小中学校校長会総会

また、令和七年度名古屋市立小中学校校長会総会が、四月十五日(火)に名古屋市教育センターで開催されました。山村会長は「課題の解決に『しなやかに』かつ『地に足をつけて』取り組みたい」と話し「名古屋市の教育関係団体が連携し、名古屋の教育の充実・発展のために全力で取り組んでいこう」と呼び掛けました。議案の審議・承認、活動方針の採択がなされました。

令和6年度より 新入会員となられた 皆様へのアンケート結果

定年引上げ・役職定年制の導入を受け、愛知県退職校長会としては、組織・活動の在り方の見直しを図っていかなくては考えています。そこで、まず、令和6年度より新入会員となられた皆様の現状把握していくことから始めたいと考え、アンケートを実施しました。

2月末日までに、150人(三河51人 尾張62人 名古屋37人)から回答をいただきました。愛知県と名古屋市中では制度の運用に違いがあるため、三河・尾張と名古屋を分けて集計しました。

○退職時期《三河・尾張》

令和5年度末に退職した 53%
令和6年度末に退職する 47%

○退職時期《名古屋》

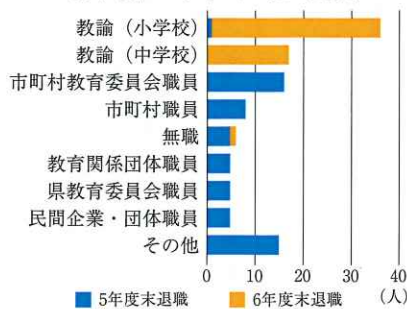
令和5年度末に退職した 24%
令和6年度末に退職する 76%

○令和7年2月末現在の仕事

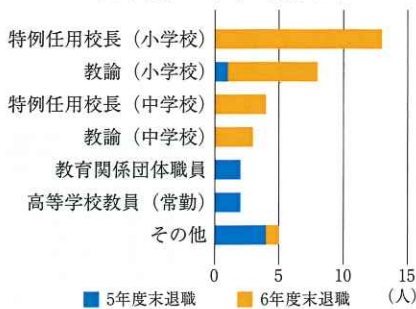
下のグラフのように、特例任用校長が多い名古屋に比べ、三河・尾張は5年度末で

退職された方が53%と、定年延長をされた方を若干上回りました。また、退職された方の仕事は、多岐に渡り、教育関係の仕事に就く方が多い一方、介護などの理由で無職になる方、家の仕事を継ぐ方など様々です。

2月末現在の仕事 (三河・尾張)



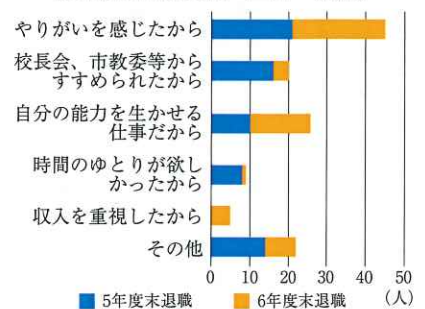
2月末現在の仕事 (名古屋)



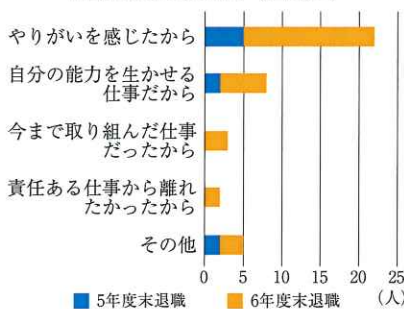
○仕事を選んだ理由

下のグラフのように、どちらの地区も「やりがいを感じ

仕事を選んだ理由 (三河・尾張)



仕事を選んだ理由 (名古屋)



たから」「自分の能力を生かせる仕事だから」が上位にきています。

○今の仕事に就いてよかったこと《職種別》

【小・中学校教諭】

・初任者の成長にやりがいを
感じ、子どもとも関わられた。
・通級指導担当でよかった。
・授業ができてうれしい。

事務局だより

・やっぱり担任は楽しい。
・校長が教諭として働くことは、慣れるのに大変だった。
・この一年、実に微妙な立場だった。苦しい一年だった。
・【特例任用校長】《名古屋》残り一年なので、異動がなく、自校の子どもに向き合えた。
・最後まで学校運営に携わることができて感謝している。
・給料が減って責任はそのままとするのは辛い。

【その他の職】

・余裕をもって、自分のペースで、学校の支援ができた。
・教育に関わる仕事で、経験を生かすことができた。

○定年引上げに対するご意見

・役職も続けられるとよい。
・必要性の高い市町村には特例任用校長を認めてほしい。
・役職定年後の給与が、今後上昇することを望む。
・同一労働、同一賃金の考え方を重視してほしい。
・定年後も、各自が希望する職場で働けるようにしてほしい。
・最後の一年なのに、転勤せざるを得ないのは残念。
・65歳までとなると体力的に不安を感じる。

ご多用の中を、原稿の執筆にご協力いただきました多くの皆様に心より感謝申し上げます。今後とも、皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

今回、会報52号から、当面の間、入会後、一年経過された方を対象に行う定年引き上げ・役職定年制に関するアンケートの結果を偶数号で紹介していきます。

最後に、諸物価高騰の折、経費削減のため、ご自宅への会報送付を年に一回(2月上旬に2冊)にさせていただきます。7月に送付していた偶数号は新しく開設するホームページでご確認ください。

○事務局次長 波多野慎次
○事務局次長 柴田 和明
○事務局次長 渡辺 昌爾
○事務局 加藤美津代

愛知県退職校長会事務局
名古屋市中区新栄一丁目
四九番一〇号
愛知県教育会館六階
愛知県小中学校長会事務局内
TEL 〇五二二六二一八五二
FAX 〇五二二六二一八〇七
E-mail a-kochi@axel.ocn.ne.jp
愛知県退職校長会ホームページ
<https://a-itai-shokusan.jp/>

